



ロータリーは世界をつなぐ
RI会長 マーク・ダニエル・マローニ

2019-2020年



Rotary District 2640 Japan
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
海南東ロータリークラブ

会長 寺下 卓 幹事 前田 克仁 SAA 魚谷 幸司

第 2004 回例会

平成 31 年 7 月 29 日 (月)

海南商工会議所 4F 12:30～

中野 均 ガバナー 公式訪問

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「四つのテスト」
3. ゲスト紹介 地区ガバナー 中野 均 様
地区ガバナー補佐 細川 幸三 様
4. 出席報告
会員総数 43 名 出席者数 29 名
出席率 58.54 % 前回修正出席率 74.42 %

5. 会長スピーチ 会長 寺下 卓 君

みなさん、こんにちは。本日は、例会を臨時変更させていただき、中野 均ガバナーをお迎えしての公式訪問になります。中野ガバナーにおかれましては、お忙しい中、ようこそ、おいでいただきました。また、細川ガバナー補佐におかれましては、先週のクラブ協議会に引き続き、ご苦労様です。遠いところ有難うございます。何卒、宜しく願い申し上げます。なお、中野ガバナーには、早めにお越し頂き、11時半から、事前に当クラブの概況説明など(会長、幹事を交え)懇談させていただきました。重ねて御礼申し上げます。



さて、先週の7月27日(土)には、地区の青少年奉仕プログラム研修及び懇親会が泉大津市で開催され、当クラブから、青少年担当で社会奉仕副委員長の中西さん(地区委員でもあります)に出席していただきました。また、地区社会奉仕委員の谷脇さんも出席いただきました。ご苦労様でした。丁度、台風が通過し、大雨となり、大変だったと思います。また、皆さんのところは、大雨でしたが、被害はなかったのでしょうか?

梅雨も明け、今週の木曜から、8月になります。いよいよ本格的な真夏のシーズンとなります。熱中症対策など体調管理を万全にさせていただき、お身体、ご自愛していただきたいと思ひます。

次に、次回例会は、8月5日の夜間例会です。新会員の溝端さん、田中さんの歓迎例会です。お二人の入会を皆さんで心から、歓迎したいと思います。ご出席宜しくお願いします。

それでは、この後、ガバナー公式訪問、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

5. 幹事報告 幹事 前田 克仁 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山中RC 8月2日(金)→8月4日(日)
18:30～ マリーナシティ

「黒潮市場」(納涼家族会)

新宮RC 8月7日(水)→8月11日(日)
18:30～ サンライズ勝浦

(三役慰労激励会及び納涼家族例会)

粉河RC 8月21日(水)→8月21日(水)
夜間例会 夕涼み例会

和歌山西RC 8月21日(水)→8月23日(金)
18:00～ ラヴィーナ和歌山ビアガーデン

○休会のお知らせ

和歌山RC 7月30日(火)

新宮RC 8月14日(水)

粉河RC 8月14日(水)

和歌山西RC 8月14日(水)

海南RC 8月14日(水)

和歌山東RC 8月15日(木)

和歌山中RC 8月16日(金)



四つのテスト 実行はこれにてから

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深められるか
- ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

続不可能となった奉仕プロジェクトの証とでもいうように、錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちに見られます。独立して調査を行った「Aguaconsult」社による2013年の報告では、ロータリーが実施したプロジェクトでのこのような問題が取り上げられました。また、より効果的なプロジェクトを計画する上での持続可能性の重要性にも触れられています。

ロータリーがここ数年、活動の焦点を教育、協力、持続可能性に転換したのもこれが一つの理由となっています。ロータリー財団のグローバル補助金、ロータリアン行動グループ、米国国際開発庁（USAID）とのパートナーシップによって、ロータリーの水と衛生プログラムである「WASHプログラム」は、より効果的で持続的な変化をもたらしています。「ロータリーの水と衛生プロジェクトはどれも、思いやりと善意で実施されていますが、その多くが地域社会の実際のニーズにできていなかったのです」と語るのは、「水と衛生のためのロータリアン行動グループ」の創設者で名誉会長のF.ロナルド・デンハムさんです。2007年に結成された同グループは、ニーズと持続可能性を重視しています。

過去には、設備や施設が適切に設置され、人びとからも良い反応がありましたが、地元住民の当事者意識、教育、持続可能性が欠けていたことがありました。また多くの場合、地域社会が自立して長期的にプロジェクトを管理するのに十分な支援がありませんでした。持続可能性の障壁の一つは、人的支援への継続的なニーズです。

ロータリー会員は、もともとボランティアです。「誰でも同じように、ロータリアンにも仕事や家族



という優先があります」とデンハムさん。デンハムさんはこれまで30年以上、クラブと協力して水と衛生の問題に取り組み、エチオピア、ガーナ、インド、ケニア、ウガンダでプロジェクトを指揮してきました。また、地元の改善に取り組むロータリー会員について次のように話しています。「プロジェクト実施地側のクラブにとって、例えば、長期間WASHプロジェクトを管理するのは大変です」。

これは、複雑な技術的要素が必要とされるときに特に当てはまります。「私たちは力を尽くしていますが、援助を必要としています。成功には、外部に支援を求めることが不可欠です」

地域社会のかかわりと当事者意識

今日、プロジェクト成功のカギは、補助的なリソース、資金、技術、人脈、文化に関する知識といった専門知識を提供する団体との協力にかかっています。「クラブは、地域社会とそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要がある」とデンハムさ

ん。「またさらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が必要なのかを憶測で判断してはなりません」

ロータリー財団は長年の活動を通じて、長期的な変化をもたらすには地域社会の関わりが極めて重要であることを学びました。現在、他国で実施する一部のプロジェクトでは、補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わったことを証明することを義務づけています。取り組む課題を選び、地元で利用可能なリソースや解決策を判断し、長期的な管理計画を作成するには、地域社会の参加が必要とされます。いずれ地域社会の人びとが自力で継続していなければならない、そのプロジェクトは成功したとは言えない、とデンハムさんは話します。2010年、デンハムさんの所属クラブ、トロント・エグリントン・ロータリークラブ（カナダ、オンタリオ州）は、安全な水が不足するケニアの大地溝帯での水と衛生プログラムの主要な援助国側パートナーとなりました。

計画段階における地下水の試験で高いレベルのフッ化物が計測されると、援助国のクラブは計画を変更し、浅い掘削孔を掘ることにしました。これまでの経験から、雨水を貯水する方がより安全な方法だとわかったからです。

実施国側のクラブ、ナクル・ロータリークラブ（ケニア）は現在、各家庭で1万リットルの貯水タンクを設置するための資材を提供し、その設置方法を教えています。その作業と管理を行うのは各家庭です。50ドルの投資で、家族が乾季を乗り切るのに十分な水を貯めることが可能となります。

世界を変える行動人

「6つの重点分野」の表記が一部変更になります。

2019年07月08日更新

ロータリー財団管理委員会は2019年4月に行われた会合で、未来の夢計画の実施後初めての包括的な見直しを受け、各重点分野の基本方針に若干の変更を加え、いくつかの重点分野の名称を変更すること以外は、6つのすべての重点分野を維持することに同意しました。名称の変更は、2019年7月1日からになります。

- ・疾病予防と治療
- ・母子の健康
- ・水と衛生
- ・平和構築と紛争予防*
- ・地域社会の経済発展*
- ・基本的教育と識字率向上

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか